



地球規模で知識や経験を共有し、途上国援助を支える大きな力になります

GDLNとJICA-Netの連携により、世界最大級の遠隔ラーニングネットワークが誕生しました。

世界銀行のグローバル・デベロップメント・ラーニング・ネットワーク (GDLN) と、国際協力機構の JICA-Net はともに、技術協力や知識・経験の共有を通じた「開発」と「貧困の削減」を目標としています。

世界銀行が日本政府の協力のもと、2003年6月に設立した東京開発ラーニングセンター (TDLC) は、2004年11月、JICA-Net と協力協定を結びました。これにより、それぞれのネットワークの機能が一層広がりを持ち、世界最大の遠隔ラーニングネットワークが誕生しました。

開発に関する知識・経験の共有や専門的知識の向上を推進している GDLN は、世界中に 124ヶ所の遠隔ラーニングセンターを設置しています。一方、JICA-Net は主に各国の JICA 事務所に 68ヶ所の JICA-Net センターがあり、JICA が行う技術協力事業を補完しています。

この強力なラーニングネットワークを使って、あなたも仕事の幅を世界に向けてもっと広げてみませんか。詳しくは TDLC または JICA-Net までお問い合わせください。

87  
カ国  
132  
市

TDLC  
jointokyo@worldbank.org  
www.jointokyo.org  
JICA-Net  
sdtjn@jica.go.jp  
www.jica-net.com

目標

**GDLN**  
世界各地に124センター

開発に関する地球規模での知識・経験の共有や専門的知識の向上を支援する遠隔ラーニング・ネットワーク。

**JICA-Net**  
世界各地に68センター

テレビ会議・マルチメディア教材・インターネットなど、さまざまな情報通信技術を活用して JICA 事業を補完する遠隔技術協力事業。

活動

- ・遠隔教育による講義やセミナー
- ・ビデオ会議
- ・実践コミュニティの形成
- ・プログラム開発

- ・遠隔講義・セミナー
- ・マルチメディア教材
- ・WBT (web-based training)
- ・ビデオ会議



